

子育てを尊重できる社会

飄

々

広報委員

岡山 智亮

先日新聞紙面で、医療的ケア児の子育てで、父親の悩みを分かちあう取り組みが広がっているという記事を目にした。医療的ケア児を持つ親を対象としたイベントはあっても父親の参加者は一般的には少ないが、父親を対象としたイベントとなると参加者は割合多いという。もちろん仕事などで時間的な制限もあり、そういったイベントに参加しにくいところもあると思うが、父親を主体とすることによって、参加してみようと思う父親も多いのではないかと思った。実際に参加した父親からは「家庭において育児の多くを担っている妻に対して負い目を感じてしまう」「子育てにおいて意見が合わずケンカになってしまう」「妻に負担が重いのは事実であり、それをわかっているだけに自分の悩みを言えずパンクしてしまう」など、確かに妻を前にしてなかなか言いにくいと思われるような意見が見られた。そういった意味で敢えて「父親のイベント」にする意義は大きいのかもしれないと感じた。

私が大学病院で研修医をしていた当時、小児科病棟で長期の入院を必要とする子供たちを多く診てきた。数か月から年単位に及ぶ入院生活に於いて、大抵は母親が付き添っていることがほとんどであった。そのため必然的に母親に対しては病状説明などする機会が毎日のようにあるが、父親となると会えて週末、場合によっては数か月会えないこともある。そういった状況を見ると、どうしても父親としては気後れしてしまうところもあると思う。新聞紙面の意見の中にも「産後の入院中に看護師らと話す母親と違い、父親は相談の場を持ちにくい」という意見があった。それでも実際に私が経験した中で父親が来院された際は病状

説明に対して、とても真剣に話を聴いている姿は当時としても印象的なものであった。

私には現在4歳と2歳の娘がいる。2歳の娘は生後数か月から1年半程度、経管栄養を必要とした。そのため育児に関わる仕事量は必然的に多くなった。今回記事を読んでみて、同じように悩みを抱える父親は多いのだと感じた。娘にとって父親としての自分、医師としての自分が存在する中で葛藤する気持ちも多くあったが、妻にとっては私以上に不安な気持ちを抱えているであろうと思うと、やはり自分の不安は自分の心の中に抑え込んでおかなければと思う気持ちになっていたところもある。ただし、私の場合良かったのは仕事がありながらも、自営業であることからある程度は自分に都合よく時間を作ることができたので、子供たちのことを含め家のために時間を費やすことができたことだと思う。そのため妻とコミュニケーションをとる時間もそれなりにあったので、意見が食い違うこともあったがなんとかやってこられたと思う。

近年、男女平等の考えのもと、さまざまな取り組みを目にすることがある。もちろん、性別によって社会的に不利な立場に立たされることがあるとするならば、あってはならないことだと思うが、お互いの立場の違いを尊重しあう気持ちも大事なことだと思う。家族が生活していくためには仕事もしなければならない、子供が生まれたら子育てをしなければならない。それぞれの立場で相手には理解してもらいにくい大変なことがあると思う。職場の状況によってはなかなか思うように家での時間を作ることができないこともあると思う。しかし、家庭の中でそういったことを話し合

う時間をしっかり作ることは、夫婦が子育てに向かうにあたって大切なことだと思うので、職場環境を含め社会全体としてさまざまな立場の人間が

いることを理解し、尊重できる世の中になれば、より安心して子育てができる社会が訪れるのではないかと思う。

閑話求題

5g

宇部市 鈴木 克佳

315gから始めて、2番目は300g、3番目は275g、4番目は295g、今は285g。6年前に（硬式）テニスラケットを再開してから私が使用してきたテニスラケット重量の変遷です。ラケットの面積やストリングスの種類などでも打感が違いますが、重量はラケットの基本スペックです。ラケットの重量単位は5g単位で、たかが5～10g程度の違いと思いますが、使用感には大きな

差があります。アマチュアでも1試合で約1時間はそのラケットを握って振り回すので、ラケットが重いと振り切れなくなったり、反応が遅くなったりします。日常で常に手にする物は案外限られますが、スマホを機種変更して手にとると、「重…」ってなるような感覚でしょうか。ちなみに、最近のスマホは170～240g程度。ラケットの違いによらず自由自在に使えるように自分を鍛えるのが理想かもしれませんが、スポーツギアはスポーツに必要なフィジカル・スキル・（特に）メンタルに大きく影響するので、良い意味で5gに拘りたいと思います。

お知らせのご案内



令和4年度山口県医師会男女共同参画部会総会・講演会

日時 令和5年3月5日（日） 14：00～

場所 山口県医師会6階会議室（山口市吉敷下東三丁目1番1号）

14：00 令和4年度総会

14：30 特別講演

女性のための漢方

山口大学医学部附属病院漢方診療部准教授 瀬川 誠

15：50 特別企画

地域保健のフィールドで活躍する

～「行政医師」という働き方～

山口県健康福祉部審議監 石丸 泰隆

防府保健所長 原田 昌範

周南健康福祉センター医師 本田 成美